

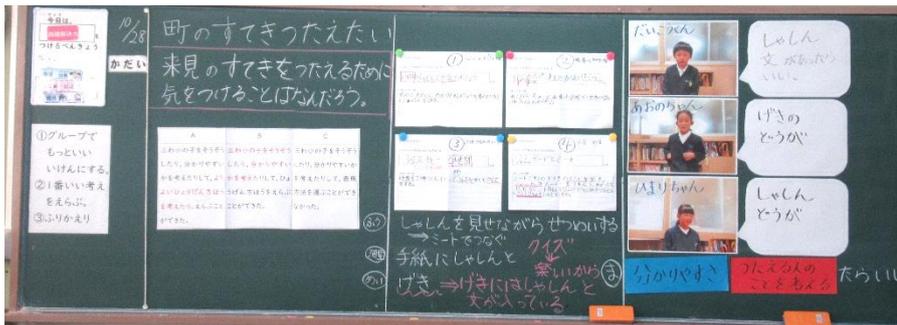
令和3年度探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業の取組

本校独自版

10月28日

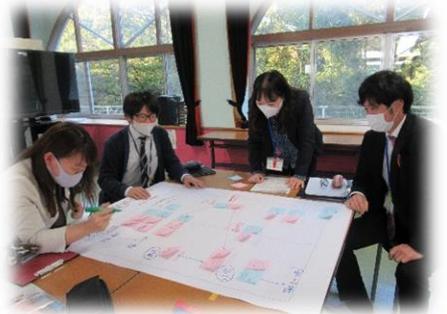
校内研修会 (第2学年 生活科)

今年度初めての生活科の授業研究でした。提案してくださった二年生の先生、ありがとうございました。この「探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業」は、総合的な学習の時間だけでなく、低学年においては、生活科も研究していきます。どのように指導案を作成したらよいのか、ルーブリックもどのように提示したらよいのか、試行錯誤しながら考え、実践しました。



そして、事後協議は、前回の研修の反省を活かし、子ども一人ひとりの姿を見取る方法で行いました。

授業内での児童の発言やつぶやき、表情などの実態を把握し、その変容から、どのような手立てが有効だったのかを交流して行きました。まさに、全部の細かいところを見取ることでできない授業者へのギフトになったのではないかと感じました。



<研究協議より>

個の姿	手立て
<ul style="list-style-type: none"> ○A児 みんなの考えをまとめる。 「分かる?」「詳しく言うよ。」「短く言うよ。」と説明しようとしていた。 ○B児 言葉は少ないが、最後にA児の意見でいいと意思表示することができた。 ○C児 2つの考えの良いところを組み合わせていた。 意見を比較しながら聞くことができた。(反応も良い「そうか〜〜!」) ○D児 よりよくしようとする姿があり、考えがまとまっていた。→① ... 	<ul style="list-style-type: none"> ○協働しようとする態度が身に付いている。 ○表現方法の掲示をし、活用できるようにしている。 ○個を把握し、集団解決で個の意見をつなげていく。(意見の整理・コーディネート) ○ゴールイメージを共有し、付けたい力が明確になっている。 ○本時の狙いに迫るための準備。(動画を使うことでより相手意識をもつことができた。) ①簡潔な板書と動画 ②グループでの話し合い テンポの良さ、振り返りの視点 自由に意見が言える雰囲気づくり ○対話的な学びのための仕掛け作りができていた。